信太和子
（大河・生々・みどりの会連合）

イオン新能代ショッピングセンター出店

質問　中心市街地活性化法による基本計画を策定して、認定を受け、集中的な支援を受けるのは厳しいのであきらめるとのことだが、まちづくりの有利な手段選択を捨てることが、市長の一存やイオンの意向によって簡単に許されると思っているのか。

答弁　店舗の床面積の合計が1万平方メートルを超える大規模集客施設が予定地に立地した場合、改正中心市街地活性化法に基づく基本計画の認定は難しいとされている。イオンの計画によると、店舗面積は3万5000平方メートルを超えると伺っているので、結果として、基本計画を作成し、申請を行っても、現時点では認定を受けることは難しいと認識している。認定による交付金のかさ上げや独自の支援措置は受けられないが、国、県等の各種制度、支援メニュー、施策等の活用や市独自の政策により、活性化に取り組んでいきたい。

中心市街地活性化ビジョン策定事業

質問　この事業はイオン出店の前提に立って予算が組まれている。イオン出店容認に対して、議会で採択した住民への説明さえ実行されていない。一方で住民の参加を求めてのビジョン策定とは、住民に対して不遜な施策ではないか。

答弁　今回のビジョンは、市が主体となって策定し、中心市街地活性化を推進する際に根幹となる基本的な考え方、中心市街地の区域、将来像、活性化の方針について、明確にしようとするものである。市としては、国、県の施策や制度の活用を検討して、補助金や交付金による支援はもちろん、まちづくりに関する情報提供や人的協力、地域や市民の活動への積極的な参画を通して、活性化を支えていきたいと考えてる。民間と行政が一体となり、両立するための努力をしていかなければならず、中心市街地活性化に向けたビジョン、計画が必要である。

信太議員のその他の質問事項

- ○能代公園整備
- ○能代市の限界集落
- ○能代産業廃棄物処理センター

針金勝彦
（平政会）

齊藤市長ならではの行財政改革

質問　平成19年度当初の財政調整基金の一般分の残高は1億7000万円あまりとなり、行財政改革を推進し新たな財源確保の方策や統廃合を含めた施設のあり方など、事務事業全般にわたり検討を進めているようであるが、市長の行財政改革の考えは。

答弁　行財政改革が、単なる倹約・節約にとどまる縮み志向のものであってはならない。また、行財政改革は、市民へ最大限のサービスを提供し、市民が安全に安心して暮らせるようにするものであり、そのためには、市職員の意識や行政の仕組みを変えていくことが必要。策定作業中の行財政改革大綱では、「あれも、これも」から「あれか、これか」へ発想を転換する、全市的視野で見直すべきものは勇気をもって変える、市民と行政それぞれの「自律」をもとに、みんなが手を携え「協働」してまちづくりを進めることを、基本的視点としている。

中心市街地を含めたまちづくり

質問　中心市街地の活性化は必要であるとして、市民、事業者、行政が一体となり協議を重ね活性化を推進するためのビジョン策定や、市街地の交流人口、定住人口の増加に向けたさまざまな事業展開をしているが、市長のまちづくりの考えは。

答弁　地域経済の活性化、商店街の振興、教育や福祉の充実を図ることで、親と子と孫が一緒に住める活気のある街、元気のある明るい街、能代に来てよかったと思える街にしたい。また、にぎわい創出のため、定住人口と交流人口がふえるよう取り組みたい。今年度の施策はジャスコ能代店への行政サービス機能や子育て支援の福祉サービス機能設置、巡回バスの増発など、交流人口の増加に主眼をおいている。また、市外への市民の流出を食いとめるため、商業者の方々にも特色のある店づくりや魅力ある商店街づくりを行っていただくことが必要であることから、その活動を支援していきたい。

針金議員のその他の質問事項

- ○旧渟城第二小学校施設の利活用
- ○保育料や給食費未納の現状と対策
- ○特定高齢者の推移と今後